



# まるわかり！ こども病院問題

福岡市政を揺るがす「こども病院の人工島移転」問題。そのポイントを日本共産党の6人の市議が解説します。

## 日本共産党福岡市議団

議会報告

# 力をあわせて 人工島移転ストップを！

## もくじ

市長にウソ答弁を謝罪させた このまま進めることは許されない	…1
「ゼネコンに聞いて1.5倍」の怪 真相究明が必要だ	…3
「ゼロから検証」はデタラメだった 公約違反はつきり	…5
医師・患者家族が強く反対するこれだけの理由	…7
「独立行政法人」「PFI」で市立病院はどうなる？	…9
人工島の破たん穴埋めに子どもの命を犠牲にするのか	…11
吉田市長といっしょに推進するのはだれか？	…13
市民と共同してがんばる日本共産党	…15
まだまだ広がる反対運動 ～たちあがる市民	…17

## 日本共産党福岡市議団

[www.jcp-fukuoka.jp](http://www.jcp-fukuoka.jp)



南区 宮本秀国 (団長)	早良区 中山いくみ (幹事長)	中央区 星野美恵子	博多区 ひえじま俊和	城南区 倉元達朗	西区 熊谷敦子
--------------------	-----------------------	--------------	---------------	-------------	------------

### 議会報告パンフレット（こども病院問題編）

2009年3月 日本共産党福岡市議団 電話 092-711-4734 FAX 741-4627  
福岡市中央区天神1-8-1 市議会 11階 メール info@jcp-fukuoka.jp  
ご意見、ご感想をお寄せください。

# 1 市長にウソ答弁を謝罪させた このまま進めることは許されない

—こども病院問題で「市長が謝罪」と報じられました。

中山いくみ市議 私がこの2月議会で、こども病院の現地建て替え試算を1・5倍にした経緯につ



中山いくみ市議

いて、昨年秋の市長答弁は虚偽だったのではないかと質問したところ、「正確さを欠く答弁だった。申し訳なくお詫びします」などと謝罪しました。ですが、謝れば済むという問題ではありません。「なぜ人工島移転か」という市民の疑問に対し、まともな説明もしないばかりか、ウソをついていた。書類はすでに破棄して証拠もない。疑問に何一つ答えないまま進めることは許されません。

—新たな疑問も浮上しています。  
中山 これも報道されましたが、「検証・検討チーム」が検証作業をしていた同じ時期に、市の病院担当がゼネコンや商社などとひんばんに接触、協議を続け、前市長時代の方針であるPFI導入の準備をすすめていたことも発覚しました。これは市長が指示したのか、それとも知らなかったのか、いずれにしても大問題です。人工島移転を撤回へさらにかんばります。



## ■ 2月議会での質疑応答より

吉田市長 昨年10月の決算特別委員会において、こども病院の現地建替えに関する建設関係者へのヒアリングの時期及び同行職員について正確さを欠く答弁がありましたことを、誠に申し訳なくお詫び申し上げます。…これまでの進め方に関しましては、様々なお考え、ご意見もあると思いますが、市としてはこれからの時代を担う子どもたちを支える病院づくりに向けて全力で取り組んでいるところであり、ご理解をいただきたいと存じます。

中山市議 議会に対して偽りの答弁をしたことがはっきりしました。議会に対する冒とくであります。なぜ偽ったのか、検証作業が客観的に行われたものでないことを示してしまうからです。ゼネコンの意見などそもそも聞いていないのではないか、誰かの独断で決めたのではないかと、そういう疑念さえ持たざるをえないのであります。大量に文書を破棄して大問題となったあのケヤキ庭石事件さえ想起させます。

## ■ 文書破棄の大問題

ゼネコンからヒアリングを受けた際のメモが破棄されたことについて、市は「個人の備忘録だから公文書ではない」と言いますが、公文書とは「職員が職務上作成した文書であって、職員が組織的に用いるもの」(福岡市情報公開条例第2条)。試算を1.5倍に上乗せした根拠となるメモは明らかな公文書。これを破棄したということは法令違反に問われます。

# 2 「ゼネコンに聞いて1.5倍」の怪 真相究明が必要だ

「ゼネコンに聞いて1.5倍にした」とはどういうことですか  
ひえじま俊和市議 市長が昨年発表した「検証・検討報告書」で、人工島移転なら87億円で済む



ひえじま俊和市議

「ゼネコンに聞いて1.5倍にした」とは、私が昨年10月の議会でも質問しましたが、誰も答弁できない。1時間も待たされたあげく、「ゼネコン名は公表できない」と隠しました。しかもヒアリング時期はウソの答弁でした。コンサルには700万円も委託料を払ったのに再試算させないで、タダで聞き取りしたゼネコンの意見を鵜呑みにしたなど、あまりにも不可解。真相究明が必要です。

「いつの間にか1.5倍に。ひえじま なぜかと聞くと、市当局は「通常はしない手法」だが「経験豊かなゼネコンからヒアリング（聞き取り）した」と言いました。そこで、誰が、いつ、どのゼネコ

## こども病院の現地建替え試算をめぐる謎

ゼネコンからヒアリングして1.5倍

コンサル試算 7月

棟数	2
鉄骨鉄筋コンクリート造(耐震構造)地上8階建	25,000㎡
4階工事	932㎡*
延55ヶ月(引越し、訓練期間を除く)	×
85.5億円(消費税別)	△

市の報告書 9月

中央区唐人町(16,734㎡)	22,677万円
土地単価(㎡当たり)	200%
容積率	200%
最大容積可能延床面積	33,588㎡
環状D-リング敷設	61ヶ月
総工費	85.5億円
D-リング費用	42.8億円
土地処分収入	なし
土地購入費用	なし
合計	128.3億円

「ヒアリング」

### 誰が、いつ、どの企業に？ 市の説明は二転三転

●「検証・検討チームの事務局の担当者が、昨年(07年)の8月10日前後において、経験豊かな企業3社に訪問した上、意見を求めたものである。更地に建設した場合の1.5倍は費用を見込むべきとの意見をいただいた」「企業名については、公表を前提にヒアリングをお願いしておらず、公表は控えさせていただきたい」(08年10月の決算特別委員会総会での副市長答弁)

●「ヒアリングの時期については7月中旬から8月上旬にかけて行い、最終的な意見を8月10日前後にいただいた。当時の検証検討チームの事務局の課長と保健福祉局建築職関係係員の2名で、3社を、コンサルタント会社の報告書を持って訪問し、ご意見を口頭でいただいた」「企業3社には、現地を確認していただきたいとお願いし、うち1社は要請があり現地を案内した」「更地に建設した場合の1.5倍は費用を見込むべきとの意見をいただいた」(09年2月の本会議での副市長答弁)

●ゼネコン1社が「電話で聞かれただけで現地も資料も見えていない。1.5倍など具体的な数字は言っていない」などと報道機関に証言。

なぜゼネコン名を明らかにしないのか？  
なぜタダで意見を聞いたのか？  
本当にヒアリングはあったのか？



# 3

## 「ゼロから検証」はデタラメだった 公約違反はつきり

「共産党は「検証偽装」と言っています、どういうことですか。」

倉元達朗市議 吉田市長は選挙で「こども病院移転を見直す」と公約し、翌年「検証・検討チーム」



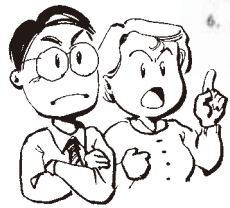
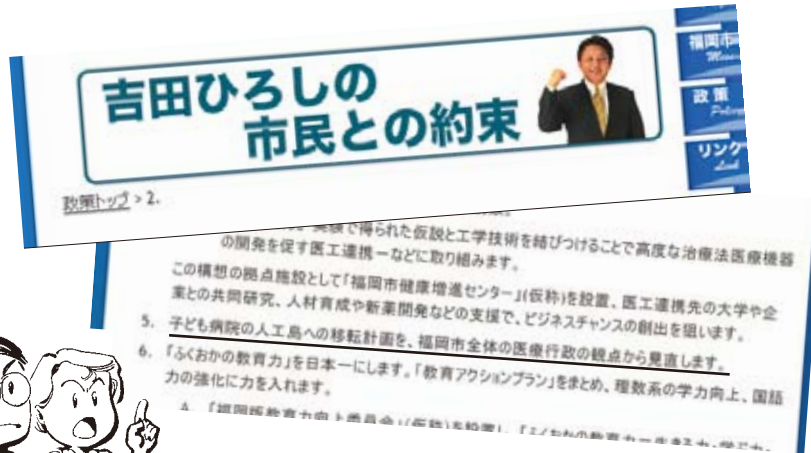
倉元達朗市議

をつくって、年末に検証結果を発表しましたが、やっぱり人工島移転でした。結論先にありきじゃないのか、とみなさんも思ったでしょう。そこで私たちは「検証」とは何だったのか、分厚い資料を入手して詳細に調べました。――どうでしたか。

倉元 調べてみるとびっくり。市は調査業務をコンサルタント会社PWCに委託したのですが、それは山崎前市長時代と同じ会社。

移転方針が変えられることはなく、意図的な報告書が作られ、現地建て替えはまともに検討されていないなかつたんです。市が総務省と事前協議もこっそり始めていたことも発覚しました。市長は「ゼロから検証した」とか言っていますが、検証したというポーズだけだったということ。だいたい、市長がコンサルの報告書を「見たことない」と言っちゃうくらいだから、デタラメですよ。

### 「見直します」の公約はどこへ行った？



### 結論ありきの「PWC報告書」

「検証・検討チーム」が業務委託したコンサルタント会社「PWCアドバイザー」が2007年7月に市に提出した「報告書」。「こども病院・感染症センターの現地建て替えシミュレーションの実施」の項の「はじめに」で、「建て替えについては、…理想から程遠い病院にならざるを得ないことを明らかにすること」と明記されています。現地建て替えの可能性を否定するための、結論先にありきの意図的な調査をしたということです。



# 4

## 医師・患者家族が強く反対する これだけの理由

― 決定過程も不可解ですが、そもそも人工島移転に大きな問題がありますよね。

星野美恵子市議　こども病院がある唐人町は、市内のどこからも



星野美恵子市議

― 搬送・通院しやすい場所です。現地か近辺で存続させるべきだと思います。移転反対運動の方々が「こどもは真ん中、こども病院はど真ん中」と言われていますが、その通りですね。

― 人工島でもいいじゃないかという人もいますが。

星野　人工島に移転されれば、市内の小児救急医療体制のバランスが崩れ、とくに西部地域が空白となってしまいます。代わりがで

きる病院はありませんから。それと、交通アクセスが非常に悪いため、1分1秒を争う救急搬送の危険性が増すことや、通院が極端に不便になることは大問題です。産科医や小児科医、患者家族は、たとえ都市高速道路を人工島に延ばしたとしても不安は変わらないと言っています。だから小児科医会が人工島移転反対の決議を決定したんです。無視する市長の態度は許されません。

星野　人工島に移転されれば、市内の小児救急医療体制のバランスが崩れ、とくに西部地域が空白となってしまいます。代わりがで

## 配置バランスが崩れ、小児医療の空白ができる

こども病院や九大小児医療センター、地域の小児科医院が連携して、市内の小児救急医療体制が築かれています。こども病院を今の場所から人工島へ移転させれば、この配置バランスが崩れてしまいます。とくに西部地域は、拠点病院を失うことで小児医療の空白地域が生じます。

### 専門医師92人が反対

福岡市内の産婦人科・小児科の開業医有志68人が昨年9月9日、吉田市長に対し「現場の専門医師からの緊急提言　こども病院の人工島移転についてご再考願います」が提出されました。「人工島は緊急性を要するハイリスク分娩を行う場所ではない」「外来、入院患者数の予測に誤りがある」「子どもたちに『負の遺産』を残さないでください」という内容。その後、総合病院の産婦人科部長・勤務医ら24人も賛同し、92人に達しました。さらに11月10日には、「福岡地区小児科医会」(会員医師150人)が人工島へのこども病院移転反対を決議しました。



## 子どもの命が守れない

交通アクセスの悪い人工島では、救急搬送でも通院でも危険性が高くなります。その影響を最も受ける患者とその家族の声を市はその声を聞いていません。

「長くは生きることができないと言われていた我が子ですが、治療のおかげで入院を繰り返しながらも、19歳の今も命をつないで生き抜いています。私は自身の経験からも、都市高速が一番の交通手段であってはいけない、子どもの命を守るこども病院は、中央部がないといけないと強く主張します。…どうかどうか精いっぱい頑張っている子どもたちの心の叫びを受けとめてください。子どもの命を守るこども病院は、リスクの少ない、安心、安全なところにあるべきです。私たちは人工島だから、だめです、と言っているのです」(2008年11月臨時議会での西頭京子さんの意見陳述より)

## 大規模地震に機能するか?

人工島は3本の橋でしか行き来できません。阪神大震災のとき、ポートアイランド(人工島)にあった神戸中央市民病院が孤立し医療活動がマヒしました。大規模地震のときに機能しない可能性が高いのが人工島です。

## 救急ヘリには最悪の場所

市は人工島ではヘリポートが設置可能だという点を高く評価しています。しかし、市が調査を委託した航空関連企業による報告書で、人工島上空は福岡空港の「特別管制区」のため、たとえ救急ヘリであっても「時間帯により待機時間発生の可能性が比較的高い」と指摘されました。

# 5 「独立行政法人」「PFI」で市立病院はどうなる？

—人工島移転で赤字が膨らむと言われています。

熊谷敦子市議 市の計画によると、新病院の初期投資は約200億円で、病院の収支と合わせると

30年間毎年17億円の赤字。今は

どうかと言いつと、こども病院、市

民病院とも年々赤字を減らして

います。なのに市は両病院を「地

方独立行政法人」に移行させ、新

病院の建設と施設管理などにP

F I(民間資金活用)を導入しよ

うとしているんです。

—独立行政法人やPFIって。

熊谷 独立行政法人になれば病

院職員は公務員ではなくなりま

す。市の「職員825人削減」方

針が背景にあります。それに、P

F I病院の成功例はなく、近江八

幡市では開院2年余りで破たん

しました。公立病院は住民の命と

健康を守るという役割があるの

で、不採算部門の医療も担うべき

ですが、福岡市の計画はあまりに

もずさんです。人工島の広い土地

に今の2倍という大規模な病院

をつくって、結局大赤字だからと

手放して民営化する、そんなこと

になったらたいへんです。



熊谷敦子市議



写真は高知医療センター(ホームページより)

病院におけるPFI方式は現在、全国に4か所ありますが、収支が出ている3か所ともすべて赤字。識者からも「病院にPFIはなじまない」という声があがり始めています。

## 「全国初の本格的病院PFI」 近江八幡市立総合医療センターの破たん

滋賀県近江八幡市は前市長時代の2001年に市立病院の建て替えを決定。市が医療業務を担い、民間会社(大手ゼネコンの大林組が100%出資する特定目的会社)に施設建設費と運営費(保守管理や病院給食など)を支払うPFI方式を導入しました。市は直営に比べて30年間で68億円のコスト削減ができると言っていました。しかし、開院翌年の07年度、医業収入は年間100億円の計画に対し84億円にとどまりました。一方運営費は15億円で固定(直営時代は6億円だった)。施設建設費145億円の返済にかかる金利負担99億円も重く、赤字が27億円に上りました。現市長(06年11月就任)が諮問機関からPFI方式の抜本的見直しの答申を受け、08年12月、PFI契約を解除、直営に戻されます。じゅうたん張りの豪華病院、収益見込みの甘さとずさんな計画について厳しく指摘されています。市長は「身の丈をはるかに超えていた」と言います。

※PFI(プライベート・ファイナンス・イニシアチブ=民間資金主導)

大手ゼネコンなど民間企業に公共施設の建設と資金調達をまかせ、自治体が毎年一定額を負担する仕組み。1999年にPFI促進法が施行され、小泉構造改革のもとで国が積極的に推進しました。福岡市では、食肉市場跡地に建てられた健康増進施設「タラソ福岡」に導入されましたが2年後の2004年に破たん。「PFI破たんの第1号」として全国的に注目されました。

## 「急患センターの小児診療が廃止？」

市当局が、人工島の新こども病院の患者数を確保するために、市立急患診療センターと保健所5カ所の急患診療所における小児診療を廃止して夜間・休日の急患を一本化することを検討していることが明らかになりました。いまだにまともな説明がありませんが大問題です。

# 人工島に湯水のように税金投入

吉田市政でさらに加速



港湾関連用地  
※1社最大  
10億円の  
「立地交付金」

青果市場  
移転(計画)

埋立て済み 62%  
今後の埋立て 151.7万㎡  
(ヤフードーム44個分)

センター地区  
商業・集客  
施設(計画)

コンベンション  
センター?  
美術館?

埋立中

博多港開発  
エリア

分譲済みの80%  
42万㎡を税金で  
買い取り

埋立中

未着工

コンテナターミナル  
建設(09年度)74億円

こども病院  
移転(計画)

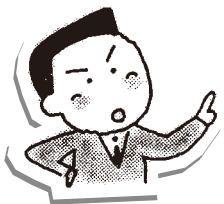
都市高速道路  
延伸(計画)

## 人工島推進予算は

2009年度 107億5832万円

吉田市政で累計391億円

(07年度当初予算、08年度当初予算と9月補正、09年度当初予算案の合計)



宮本秀国市議

「なぜ吉田市長は人工島移転にこだわるのでしょうか。宮本秀国市議 病院予定地は人工島の南東部・博多港開発のエリアですが、博多港開発は土地が売

れずに経営破たん状態です。病院用地3.5ヘクタールで市が払う47億円は福岡銀行などへの返済に充てられます。もともと銀行は不要不急の人工島事業に資金提供して推進してきた責任があるのに、税金投入によって巨額の利益を得ています。吉田市長は後援団体が福銀に政治資金パーティ券を買ってもらおうなど銀行との不正な関係があるから問題です。―財界いいなりですね。

宮本 市長は「大胆な見直し」と公約したのに、人工島事業を推進し、コンベンションなど公共施設を次々計画し、企業誘致のために最大10億円の交付金まで投げ渡そうとしています。財界の意を汲む番頭に成り下がったんですよ。その一方で市民には高い国民健康保険料が押し付けられ、福祉や教育は後回しにされている。こんな市長はやめさせようという声が広がるのも当然だと思います。

# 6 人工島の破たん穴埋めに 子どもの命を犠牲にするのか

# 患者家族と市民を敵視する民主党

民主党は吉田市政の唯一の与党として、こども病院の人工島移転を積極的に推進しています。ところが、昨年9月議会で市長が関連議案を提案したのに、質疑や討論で理由を説明することもせず賛成しました。日本共産党提出の市長不信任案に対しても討論に立たず反対しました。

一方、住民が直接請求した「こども病院の人工島移転の是非を問う住民投票」について、「議会軽視で容認できない」などと口を極めて批難する異常な態度を示しました。説明責任を果たさず、市民の願いを踏みにじって恥じないのが、民主党です。

## “有権者は感情に左右される”と住民投票に反対

「一部の限定的な主張。議会での議論を軽視しており断じて容認できない」「単に病院移転地の是非のみを問うという議論の矮小化(わいしょうか)を図るもの」「有権者は専門的知識が少ない他、ムードや感情に左右され、合理的、長期的判断が難しい」(民主市民クラブ・栃木議員の討論より、08年11月19日、本会議)



会 派	共産	自民	公明	民主	みらい	ネット	社民	福政
人工島の病院用地のための補正予算(08年9月)	●	○	○	○	○	●	●	○
こども病院人工島移転の是非を問う住民投票条例(08年11月、直接請求)	○	●	●	●	●	○	○	●

こども病院の人工島移転に関する予算・条例案は09年3月議会で採決予定です (○賛成 ●反対)



自民党、公明党、みらい福岡は、前市長時代から「こども病院・市民病院の統合・人工島移転」を推進。吉田市長に「人工島移転しかない」と迫り、自民党は5ヘクタールの土地を買うよう主張してきました。自民党の市民アンケートでは「市長案(こども病院の人工島移転)に反対」が83%になりました。

昨年9月議会では、自民、公明が、吉田市長提案の議案に賛成しただけでなく、「統合移転」を市長に迫る内容の決議案を提出し可決させましたが、これは人工島移転を推進する他の会派からさえ賛同が得られないというお粗末さでした。日本共産党が提出した市長不信任案にも反対して吉田市長に助け船を出しました。

# 人工島への統合移転を市長にせまる 自民・公明・みらい



署名運動に参加



日本共産党市議団は、こども病院人工島移転に反対し、市民と共同して奮闘しています。

「こども病院の人工島移転に反対する連絡会」がとりくんだ議会請願運動に積極的に参加し、いっしょに地域で、街頭で署名を集めました。この署名は9万3,586筆に達しました。

議会のたびに吉田市長に質問し追及してきました。議案提出が強行された昨年9月議会では、史上初の「市長不信任案」の動議を提出し徹底抗戦。「重大な公約違反を繰り返し、市民を完全に無視する吉田市長にこれ以上市政運営を任せられない」という訴えは、市民から大きく歓迎されています。

市政をチェックするのが議会の役目。吉田市長の「検証」にかかわる疑惑を解明するため、調査特別委員会を設置して集中審議をすべきたと、繰り返し議長に申し入れました。

# 市民と共同してがんばる 日本共産党



抗議文と質問状を提出



特別委員会設置を議長に申し入れ

議会で徹底追及



# 日本共産党の主張

- こども病院の人工島移転計画を撤回
- 「新病院基本構想」を撤回し、地方独立行政法人化やPFI導入をやめる
- 「検証・検討」に関する虚偽答弁、証拠破棄の究明
- 市民や医療専門家を入れた第三者機関による再検証
- こども病院は現地建替えまたは近辺で整備



市は昨年「基本構想」を決め、市議会で病院用地取得の予算が可決されたとは言え、実際に新病院建設に着手するまでにはいくつもの難関があります。人工島移転を撤回させる機会はまだまだあります。世論と運動で推進勢力を追い詰めるため、力を合わせましょう。

## 「新病院」までのスケジュール

(福岡市の資料から作成)

- 2009年3月まで  
総務省の許可、土地購入手続きにかかる協議と契約、基本計画の発表、予算議会で予算審議、PFI公募開始、県審議会での増床協議など
- 2010年度 設計
- 2010年秋 市長選挙
- 2011年春 市議会議員選挙
- 2011年度 建設工事着工

# これまでの反対署名は 総計20万人

こども病院の人工島移転に反対する世論はますます広がっています。「こども病院の人工島移転に反対する連絡会」の請願署名、患者家族などの「こども病院の人工島移転を考える会」の陳情署名、住民投票条例直接請求署名など、反対署名が繰り返し取り組まれ、その総計は20万人に達しています。

この2月には、弁護士、医師、患者家族ら広範な市民が参加する「福岡市立こども病院の人工島移転撤回を求める市民会議」が結成されるなど、運動はますます広がっています。

まだまだ広がる反対運動  
私たちあがる市民



写真は昨年の「こども病院の人工島移転に反対する連絡会」による請願署名提出